



## 「緑内障について」

緑内障という病気をご存知でしょうか？新聞やテレビで耳にしたことがある方も多いのではないかと思います。緑内障は日本を含め、諸外国においても失明原因の上位を占める、社会的にも重要な疾患になります。

緑内障とは、視神経（ものを見るために必要な神経）が、眼圧（眼球内の圧力）が高くなるなどの原因で損傷を受け、治療せずにそのまま放置しておくこと徐々に視野（見える範囲）が狭くなっていく病気を

です。残念ながら失われた視野は元に戻りません。従って、見えなくなる範囲が広がる前に、早期発見、早期治療をすることがとても重要になってきます。ところが緑内障は、初期では自覚がしづらい病気です。日本で行われた調査により、日本人が緑内障に掛かる割合は、40歳以上の方で約20人に1人、およそ5%の割合と報告されており、そのうち約90%の方は、この調査で初めて緑内障とわかりました。自身で気

づきにくい理由は、人は両目でものを見ているため、片方の目に見えない部分があっても、もう片方の目でそれを補うからです。また、視野の欠損が中心に及ばない限り視力は低下しないため、病気に気が付かないことが多いのです。

緑内障の治療は、病気の進行をくい止めるため眼圧を下げてコントロールすることが最も有効とされています。治療法として、まずは点眼治療を行います。点眼で眼圧が下がらない場合は手術治療を行うこともあります。ほとんどの方は治療をしっかり行うことで、失明にまでは至りません。しかし残念ながら、治療を行っても失明に至る難治性の緑内障も存在します。

大切なのは早期に発見し、早期に治療を行い、治療を継続することです。40歳を超えられましたら、健康診断や眼科での緑内障検査をおすすめいたします。

函館中央病院  
眼科

長谷 敬太郎  
医長

[略歴]

平成21年弘前大学医学部卒業。  
市立札幌病院、北海道大学病院、  
砂川市立病院勤務を経て、平成27年より函館中央病院 眼科勤務。  
同年、眼科医長に就任。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

診療科目 / 内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、  
心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全22科目  
受付時間 / 8:30~11:30・13:30~16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。  
休診日 / 日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)